

# MÉMOIRES 2021

## スプリンターズステークス

第55回スプリンターズS(GI)優勝馬ピクシーナイト



### “最強”を受け継ぐ新チャンプの戴冠

3歳馬による勝利は14年ぶりの快挙。スプリント界に若き新王者が誕生した。

1番人気に推されたのは6歳馬ダノスマッシュ。前年暮れの香港スプリント、春の高松宮記念を制している現役王者は、4月の香港でのチェアマンズスプリントプライズ6着からの参戦となった。続く2番人気は4歳牝馬レシステンシア。自身初のスプリント戦となった高松宮記念は2着で、2歳時以来のG I 制覇へ向け、前哨戦のセントウルSを勝利して臨んできた。

そして3番人気は、3歳馬ピクシーナイトだった。春はマイル路線を進み、シンザン記念を快勝。しかしアーリントンCは4着、NHKマイルCはシュネルマイスターの12着と大敗を喫した。その後はスプリント路線へ。CBC賞2着、セントウルS2着を経てこの大舞台へ駒を進めた。

レースは予想された通り、2020年の高松宮記念勝ち馬モズスーパーフレアが快足を飛ばして先行する展開となった。函館スプリントSを逃げ切ってきたビアンフェが続き、ピクシーナイトはその直後の内ラチ沿いを進んだ。

直線に入ると、ピクシーナイトは抜群の手応えで前の2頭の間を割るように進出。一気に抜け出し、残り200m過ぎで先頭に立つ。そこからの走りは圧巻だった。大きなストライドで後続を突き放すと、最後はレシステンシアとシヴァージによる2着争いを2馬身後方に見ながらゴールを駆け抜けた。

デビュー戦から手綱を取る福永祐一騎手はレース後、「以前からこの馬は凄い馬になると公言してきましたが、想像を超えた馬になる可能性が出てきました」と、その勝ちっぷりを絶賛した。3歳馬のスプリンターズS優勝は2007年アストンマーチャン以来、14年ぶり。スプリント路線への転向には福永騎手の進言もあったとのこと、「この先、短距離界を引っ張っていく存在になる馬だと思います」と新王者の誕生に胸を張った。

ピクシーナイトの父モーリスは初年度世代からG I 馬が誕生。曾祖父グラスワンダー、祖父スクリーンヒーローから続く父仔4代G I 制覇は、グレード制導入以降JRA史上初の快挙となった。



▲スピード自慢たちが最後の直線へと向かう。

▶父である名マイラーのモーリスに、産駒初のG Iタイトルを贈ったピクシーナイト。



#### 第55回スプリンターズステークス(GI)

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	ピクシーナイト	牡	3	55	福永 祐一	音無 秀孝	1:07.1	③	③②
2	レシステンシア	牝	4	55	C.L.メル	松下 武士	2	②	④④
3	シヴァージ	牡	6	57	吉田 隼人	野中 賢二	アタマ	⑩	⑤⑤
4	メイケイエール	牝	3	53	池添 謙一	武 英智	2 1/2	⑦	⑦⑦
5	モズスーパーフレア	牝	6	55	松若 鳳馬	音無 秀孝	ハナ	⑤	①①
6	ダノスマッシュ	牡	6	57	川田 将雅	安田 隆行	アタマ	①	⑤⑥
7	ビアンフェ	騾	4	57	藤岡 佑介	中竹 和也	クビ	⑥	②②
8	クリノカウディー	牡	5	57	岩田 康誠	藤沢 則雄	1/2	⑥	⑦⑩
9	ミッキープリランテ	牡	5	57	和田 竜二	矢作 芳人	クビ	⑬	⑦⑦
10	ラヴィングアンサー	牡	7	57	岩田 望来	石坂 公一	ハナ	⑮	⑫⑪
11	ジャンダルム	牡	6	57	浜中 俊	池江 泰寿	1/2	④	⑦⑪
12	タイセイビジョン	牡	4	57	三浦 皇成	西村 真幸	1 1/4	⑪	⑬⑬
13	エイティーンガール	牝	5	55	横山 和生	飯田 祐史	アタマ	⑭	⑮⑮
14	アウイルアウェイ	牝	5	55	戸崎 圭太	高野 友和	3/4	⑫	⑭⑭
15	ファストフォース	牡	5	57	鮫島 克駿	西村 真幸	1	⑧	⑦⑦
16	ロードアクア	牡	5	57	田中 健	浅見 秀一	2 1/2	⑯	⑫⑬

単勝 ④530円 複勝 ④200円 ⑫160円 ①770円 枠連(2-6) 700円  
馬連 ④-⑫890円 馬単 ④-⑫1,910円 ワイド ④-⑫460円 ①-④2,760円 ①-⑫2,030円  
3連複 ①-④-⑫9,050円 3連単 ④-⑫-①38,610円

ハロンタイム 11.7-10.6-11.0-11.1-11.3-11.4  
通過タイム 600m ③33.3-800m ④44.4-1000m ⑤55.7

#### 優勝馬 ピクシーナイト

2018.5.14生 父モーリス 母ピクシーホロウ 母の父キングヘイロー  
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)シルクレーシング